

# JSOIケースプレゼンテーション試験 CISJ予演会

日時：平成30年7月1日(日)  
場所：都市センターホテル



本荘 真也 (埼玉県)



都市センターホテルにて、JSOIケースプレゼンテーション試験CISJ予演会が開かれました。まず、ケースプレゼンテーション試験というのは、インプラント補綴治療を行い3年以上経過した症例について、術前・術後・経過について発表を行い、それに対して3名の試験官からの口頭試問をもとに合否を判定するというもので、この試験に合格する事は、専門医もしくは専修医を取得するための必須条件となっています。

今回の予演会では、試験の概要についての講義から始まり、実際の発表を想定したプレゼンテーション、概要報告書や発表資料の修正、想定される口頭試問についてなど、試験合格のために多数の先生方から御意見や御指導を頂きました。田中譲治会長を始めとした大変大御所の先生方に、試験合格のためにサポートしていただける事は、受験する立場からすると大変心強く、また有り難いと感じています。

ケースプレゼンテーション試験において最も重要な事は症例の選択だと思います。抜歯即時埋入やGBR症例といった難易度の高い症例を避け、術



前・術後・経過時の資料が綺麗に揃っている必要があります。特に術前の資料においては取り返しがつかないため、修正ができません。実際に予演会でも多くの先生が発表資料の指摘や修正を受け、症例自体を変更せざるを得ないケースや、今回の受験を辞退せざるを得ないケースもありました。今後ケースプレゼンテーション試験の受験を考えている先生方は、ケースプレゼンテーション試験予演会の見学に参加し、こういった症例を選択すればいいのか、提出する口腔内写真やレントゲン写真にはこういった規定があるのかを理解しておく必要があると感じました。